

福山工業高等学校が黒瀬高校の飛沫感染防止アクリル板を 新たな形に加工し再活用するための打合せをオンラインで実施します。

本校の電子機械科第3学年では、これまで学び培ってきた知識と技術を生かして地域貢献を考える「課題研究」に取り組んでいます。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として使用されていたアクリル板を回収し、新たな形に作り変え、再活用することで地域に貢献したいと試行錯誤しています。

そこで、依頼のあった黒瀬高校の生徒と本校生徒とが、要望等の打合せを7月3日（月）にオンラインで実施します。

1 当日の日程 【令和5年7月3日（月）】

16:00~16:10	自己紹介	両校生徒による自己紹介
16:10~16:40	製作についての質疑応答	両校生徒による制作目的や作品について情報交換し、製作の要望や質疑応答をする。
16:40~16:50	閉会の挨拶	両校代表生徒によるお礼の言葉

2 場 所

広島県立福山工業高等学校 電子機械科 実習室「電気3」
福山市野上町三丁目9番2号 TEL 084-922-0261

3 活動の概要

- (1)実施授業 本校3年 電子機械科B組 「課題研究」テーマ：地域貢献（生徒数10名）
- (2)活動目的 アクリル板の再利用を通じて地域の課題解決とSDGsにつながる、ものづくりを実践し、人に喜んでもらう活動を目的とする。
- (3)加工材料と方法 黒瀬高等学校より頂くアクリル板の半数を希望する商品に加工し贈り、半数は本校生徒が考える「子供たちが喜ぶ作品」（制作図案作成中）の材料になります。本校でillustratorを使用し、図案を作り、レーザー加工機と曲げヒータを使って加工します。
- (4)その他 同活動により、福山市立光小学校へ納品予定（7/10）の作品が完成しているのので、見本として活用しながら要望に応えられるよう打ち合わせをします。



福山市立光小学校との打ち合わせの様子と納品予定作品（本立て等、チンアナゴゲーム）